

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

# SAKURA

Since 2013



Vol.37  
9・10月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



上野 星矢(フルーティスト)

## 彼こそ“最強”のフルーティスト! 上野星矢が描く音楽とは—

== INDEX ==

Pick Up Artist

**上野 星矢**(フルーティスト)

**柳家小せん**(落語家)

名曲サロン Vol.21 出演 今をときめく若きミューズたち

**大澤 理菜子、早淵 綾香、増山 頌子、高梨 瑞紀、白川 優希**

ピアノグランプリ 2020 開催!

連載

音楽の隠し味／白川 優希

音楽に酔う／Daryl Jamieson

【新連載】ザルツブルクの想い出／川田 将人

ユザーズ・ヴォイス

男は背中で物語る 戸塚見返親仁

コンサート・レビュー



# 最強のフルーティスト

うえの せいや  
上野 星矢

～最強とはなにか…～

梅雨が続くバツとしない天気の中、爽やかな笑顔で現れた上野星矢さん。フルートとの出会いや、音楽に対する想いをお話しくださいました。

—フルートを始めたきっかけを教えてください。



上野星矢さん(Fl.)

見た目と、父がフルートを吹いていた影響もあったのでしょうか。自然とフルートを選択しました。幼いからサッカーなど体を動かすのが好きだったので、フルートを始めたことに家族は大変驚いていました(笑)。

—中学生の頃から吹奏楽コンクールではなく、ソロコンクールを受けていますが、それはなぜですか?

コンクールを受けると自分の実力がわかります。吹奏楽も好きだったので小学校～中学1年生の頃は吹奏楽部に所属していましたが、もっと個人の力を磨きたいとその当時師事していた先生と相談しながら受けようになりました。

コンクールでは1位を目指していたのではなく、自分の理想に追いつき、理想を実現することを意識していました。

—高校から都立の芸術高校に進まれていますが、プロを目指しての選択でしょうか?

中学生の頃にコンクールで結果を残せたこともあり、自分がフルートをもっと磨くべきじゃないかと考え芸術高校に進学することを選びました。また、母がそこで教師をしており、のびのび学べる高校というイメージがあったので、音楽を遊ぶように学びたいと思い進学をしました。

—大学は東京藝術大学(以下、藝大)に進学をされていますが、海外の大学へ進学することは考えなかったのでしょうか?

いつかは海外留学を考えていましたが、まずは日本の素晴らしい先生方から学びたいと思い藝大に進みました。ただ19歳の時に受けた「ランパル国際フルートコンクール」で優勝し、その際に多くの方から留学を勧められ、「今が留学するタイミングだ」と思いフランスに行きました。もちろん日本の大学を卒業したい気持ちもあったので少し寂しかったです。



—突然フランス留学を決めたということですが言葉等は大丈夫でしたか?

留学が決ってから会話教室にも通ったのですが、フランスに行ったら3ヶ月くらいで言葉にも環境にも慣れて何とかなりました。元々、父の演劇の公演をフランスまで観に行ったりしていましたし、幼い頃からフランスという国、環境を身近に感じていたので、まずはフランスに留学したいと決めていました。

—留学して楽しかったこと、苦労したことをお聞かせください。



2013年/パリ中心の海外活動時代

もちろん言葉の壁にはぶつかりましたが、あまり苦労話というはありません。日本という国がとても便利な国なのでその環境と比べてしまうと不便な所は色々ありました。そこも含めて好きです。楽しかったというのは、とにかく日常生活が何から何まで目からウロコな出来事すべてです。やはり日本とは全く違う環境で育って生きてきた人たちと生活するので、今まで一方向の視野しか見えていなかったのが360度視界が開けた、といった感じです。また、フランスの方は皆自然体で仕事をしているのが好きです。

—活動拠点を日本に選んだ理由は何ですか?

フランス留学の後にドイツにも4年間留学したのですが、しばらく音楽的にも体調的にもすぐれない時期が続きまして、卒業のタイミングで一度自分の原点に戻り、家族と過ごしたり、友人に会ったり、昔から練習してきた部屋に戻ってきたりして…。そのことが自分の中でとても良かったので、現在は拠点を日本に置いています。もちろん今後もチャンスがあれば活動拠点を海外に移す可能性もありますし、パリにもアパートを借りていますので制作拠点の1つと考えております。

—「最強のフルーティスト」という肩書についてお聞かせください。

私が演奏するフルートの音圧が強いとかではないですよ(笑)。実際はまだ“最強”ではなくて目指しているところです。“最強”と言っても色々な意味があると思いますが「最強のふたり」という映画がありまして、この映画は全く境遇の違う二人が色々なことがあり友情を育んでいく内容なのですが、この映画を観て“最強”とはイコール“最も強い”ということではなく、精神的、肉体的、演奏等の全てを含めて人間として“最強”になれたらと考えています。

—ポップスの楽曲でまとめたCDも出されていますが、クラシック音楽を演奏するのと違いはありますか?

一つの作品を作るということに違いはなく、歌詞からどういったニュアンスで曲を表現するのか読み解いたり、スコアから分析して曲を表現するのか、作業工程が違います。私はクラシックだけではなくポップスも好きなので演奏することに抵抗はありません。

—戸塚公演で楽しみにしていることを教えてください。

私は戸塚に行ったことがないので、初めて私の演奏を聴く方も多いと思います。それこそ何が“最強”なのかということもそうですが、フルートを通して曲の情景や気持ちなどを五感をフルに使って感じてもらいたいですし、受け取ってもらえるようにしたいです。私にとっても挑戦です。

—ピアニストの正住さんについてお聞かせください。

出会いは約10年前に一緒に演奏したことが始まりで、その当時からアンサンブル能力が高く素敵の方でした。私が日本に帰ってきてから再会したらお互いにレベルアップしていて、より良い音楽を作れるようになりました。



正住真智子さん(Pf.)

—上野さんの公演では学生に向けた招待がございますが、始めたのはどうしてでしょうか?

今年の11月に行うサントリーホールでの公演もそうなのですが、学生を招待したり、気軽な金額に設定しているには理由があります。私が学生の頃から日本で観るコンサートのチケット代が高く、気軽にコンサート行くのは難しいと感じていました。もちろん、お金が発生しているものなので金額が高くなるのもわかります。ただ、海外で生活していると学生は格安でプロの演奏を楽しむことができ、席の場所は決してよくありませんが、学生証を持って開演まで2時間くらい並べば5ユーロで観られるのです。日本でも学生が遊びに行く感覚で毎日プロの演奏を楽しめるのは500円くらいかと思っていて、そういう時代が来なければいけないと思っています。私だけがこのような企画をやっていくのではなく、他のアーティストの方にもやっていただけたらと思っています。

—ピアノグランプリ2020※では審査員をされますね。いかがでしょうか?



今年も7月にルーマニアのフルートコンクールで審査員をしたり、過去には審査員長を務めたこともありますので審査には慣れているのですが、ピアノの審査は初めてです(笑)。「ピアノグランプリ2020」は応募資格が30歳以上ということだけでも珍しいですが、クラシックだけに限定されない、連弾もOKなど異色の部分が多いので正直想像想

像がついていません。ただ、コンクールを30歳を過ぎてから受ける方というのは相当な熱意がないと難しいと感じているので、すごい熱量を持った方々が集まるのではないかと楽しみにしています!

—戸塚でのコンサートに向けてメッセージをお願いします。

耳なじみの良いプログラムをそろえていますので、まずは気軽にいらしていただきたいです。そして約2時間、スマートフォンの電源をOFFにしていただき、コンサートホールという閉ざされた空間にいるということに時間を使って欲しいです。それは今までコンサートに行ったことない人には特殊体験になると思いますし、その先にフルートの音色が作られる空気の流れを自身の五感で感じて欲しいです。それはクラシック音楽を難しく考えるのではなく、まずはその空間にいることが大切で自分なりに楽しめればいいとも考えています。

また、部活動で忙しい学生さんもいると思いますが、人の演奏を聴く事で成長することも沢山あります。私の音楽を聴いてフルートがどれだけ自由な楽器なのかを感じてもらいたいです。

—今後の夢、目標を教えてください。

後進の指導や、学生が気軽に来てもらえるコンサートを日本全国展開していくことを目標に、本物の音楽を聴きに気軽にコンサートに行って感動して帰れる仕組みを作ることが夢です。

(取材・構成:近藤喬之)



上野 星矢 Seiya Ueno (Fl.)

19才で「ランパル国際フルートコンクール」(フランス)にて優勝し、フルーティストとして世界を舞台に活躍。パリ国立高等音楽院を2012年に卒業。デビューCD『万華鏡』、2ndCD『デジタルバード組曲』、最新の『テレマン:無伴奏フルートのための十二の幻想曲』等、これまでに4枚のCDを発表。第25回青山音楽賞新人賞受賞、第17回ホテルオーケラ音楽賞受賞。



上野星矢フルートリサイタル  
2019年12月14日(土)14:00開演  
ピアノ/正住真智子

\*詳細は裏表紙をご覧ください。



## 柳家 小せん

～来年で昇進10周年。これからも変わらない仲間たちと…～

すっかりお馴染みとなりました「秋のさくらプラザ寄席 庚寅長月の会・戸塚公演」も今年で4回目。2010年(干支で言う庚寅)9月(長月)に真打に昇進した師匠方も、皆さま来年で昇進10周年を迎えられます。今回は会を代表して戸塚区出身の柳家小せん師匠にインタビューをいたしました。師匠の語る相変わらずの仲間たちとの絆と、戸塚への愛情をどうぞお楽しみください。



—改めて「庚寅長月の会」結成の理由を教えてください。

**柳家小せん (以下、略) :**

結成というよりも、一緒に修行をしてきた仲間なんですね。それぞれ一門は違いますけど、楽屋入りが大体同じ時期で、同じ時期に寄席で修業をして、同じ時期に二つ目に上がって、この5人で同時に真打になったという。まあ、たまたま仲が良くて、一緒にやって面白いで、この5人で会をやろうということになりました。ありがたいことで、さくらプラザでも今回で4回目です。

—さくらプラザで高座を持つ魅力はどんなところにありますか?

魅力と言うと駅から近くで、雨の日もぬれずに来られるところ。それと、新しいから当然ですがきれいだし、なにより音響がよい。やっぱり響きが良いとお客様に心地よく聴いてもらえるんじゃないかな…とは思いますね。環境が良くて心地良いから笑ってくださるのが、ちゃんと話が通じて集中して聴いてもらえるから落語家が気持ちいいのか。お客様の反応が先か、環境が先か、どっちとも言えないんですが、あいまたときにとっても良い空間ができるわけですね。お客様の温かさも含めてですが、さくらプラザでは毎回気持ちよくやらせていただくことがほとんどです。この5人会でもお正月の会だと先輩とか、大先輩にもお願いしてお呼びしたりすると「良いお客さんだね」「良いホールだね」って言ってもらっているので、お客様、場所、といった“環境”が良いのではないかと思います。

—戸塚区のお客様に対してはどうように感じていますか?

自分が地元だから安心しているというこっちの気持ちもあるかもしれません、集中力というか、さあ聴くぞという…前向きでありますから、がつがつしていない。落語というのはお客様のちょっとした前向きさとか、言葉をちゃんと受け止めてくれるかによって反応が変わってくるんで、そういう意味ではしっかり言葉が届いているなというお客様が揃ってくださることが多いですね。

—師匠にとって戸塚という街はどのような街でしょうか?

生まれ育った街だから“特別”なんですよね。だからって、よその人に「うちの街は、戸塚というのはここがすごいんです」と言えないのは申し訳ないんですけど、自分にとってはかけがえのない街です。出かける時に、東海道線に乗って駅を通り抜けるだけでもほっとするというか。まして戸塚に仕事があって駅の改札を出る時は、帰ってきたなというか、地に足が着いたなというような気持になりますね。今44歳なので、漸家になったのが22歳ですから、ちょうど戸塚で暮らした期間と出た期間が同じくらいの時間を過ぎたとこですけど、やっぱり自分の出所はここだなっていうのは変わらないですね。



—来年で皆さまが真打昇進をされて10周年を迎えるますが、師匠自身が成長したと感じるところはありますか?

成長したな…というと若干頭髪が寂しくなってきたくらいですが(笑)、あんまり実感はしないですね。弟子を育てる中で、自分の意識とか、責任感とかは若干はあるのかもしれません、自分自身がこんなに立派になった、落語が上手くなつたっていう実感は残念ながら無いですね。まあ、なんかしら変わっているでしょうし、じやなきやいけないんでしょうけども、自覚はないですね。

本当に日々毎日、目の前にことに追われて、手いっぱいのうちに気が付いたら年月は経っているなと感じます。もっと長期の目標を立てて、名人に向かってという姿勢も必要なんでしょうけど、ありがたいことにお仕事をいただいたら、出番をいただいたり、目の前にやらなくちゃいけないことがあるっていうことは素晴らしいことです。

—会の活動の中で一番思い出に残っている出来事はありますか?

これが一番っていうのは難しいな…昨年、林家きく磨さんと福井で公演した時のように、たまたま他の寄席の楽屋で2人一緒になるとかはありますが、5人揃うこと自体は庚寅長月の会しかないですからね。5人揃った時は相変わらずです(笑)。20歳そこそくで楽屋入りした時からの仲間で5人で集まる度に同窓会みたいになってしまいます。学生時代の仲間に会ったら、当時の気分に戻ってしまうような感覚です。相変わらず変わんねえな、相変わらずばかだ、相変わらず飲んだくれだってお互い言い合うんです。だから、楽屋は楽しいし、この会を別の場所でやる時も楽しみで仕方ない。そういうのはなんとなく感じ取ってもらえるといいかな…それはお客様に押し付けるものではないんですけどね。

—今後は会としてどのような活動をされたいですか?

“俺たち力を組んで、のし上がってやろう”という確たる集団ではないので、今はありがたいことに何力かでやらせてもらっているこの5人会、これは続けたいし、増やしたいということがありますね。そのためにそれぞれ腕を磨いて、お客様をつかんで、また聴きたいって思ってくれる高座を積み重ねて、またこの5人でぜひ来てもらいたいと思ってもらえるよう続けていきたいですね。というのは“楽しい”から。5人揃うと、じゃあこの中でどうしようかっていう、一番手がまず壇に出たら、二番手はバントで送ろう

か、三番手は長打を目指してとか、最後ホームランをゴンと打とうとかそういうのが、やっぱり寄席。大勢で流れを作るっていうのも芸人の醍醐味と言いますが、寄席らしい丁々発止のやりとりという、「よし俺耕してくるよ」「後は頼んだ」「後の人にはこういう芸風だから、こうやつたらやりやすいかな」と考えるのも大勢でしかできない楽しみです。

—5人の信頼があるからできることですね。

信頼もあり、お互いのことがわかってるからできることですね。たまに芸風と違うことを持ってきたりとか、やりやがったなあこんにやろ(笑)みたいな楽しい裏切りもありますし。お客様にはトータルで良い時間を過ごせたなと思ってもらえる番組が作れるように高座を積み重ねた結果、呼んでもらえる場所が増えて、できればこの5人で旅ができたなら楽しいですね。目標というか、夢想というか、夢廻(ゆめはなし)として、そんなことも望みはあります。戸塚で観た方でも、これを読んだ方でも、あの5人を呼ぼうかとなってくれたら嬉しいですね。

—最後に戸塚区の皆様へメッセージをお願いします。

地元というのは本当にありがたいものです。自分がほっとするものもありますし、たまたま地元の出身の者だったら応援してやろうと温かい目で見ていただけるのはとってもありがたいのですが、それに甘えないように。何やっても「応援してくれるからいいや」じゃ申し訳ないんで、戸塚出身なら応援しよう、戸塚からこんなすごい人が出てるんだぞと言われるように今後とも精進してまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。

(取材・文:小野 良/写真:近藤 喬之)



秋のさくらプラザ寄席 第4回 庚寅長月の会・戸塚公演  
2019年11月2日(土)13:30開演 \*詳細は裏表紙をご覧ください。





名曲サロンVol.21 出演

## 弦楽アンサンブル

～今をときめく若きミューズたち～

名曲サロンシリーズのホール特別公演は弦楽器の魅力をたっぷりとお届け! ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロのソロ プログラムの他、弦楽四重奏、さらには、ピアノ五重奏も楽しめます。インタビューではひとりひとりの魅力をお伝えすべく、若き5人のミューズたちへ一問一答いたしました!

### さくらプラザ サポートアーティスト



#### ヴァイオリン/大澤 理菜子

1994年12月14日生／射手座／O型  
趣味／自宅やカフェでのんびりすること  
好きな食べ物／餃子、タイ料理

**A0.**これまでさくらプラザでは、ヴァイオリンとチェロのデュオや、名曲サロン等の公演に出演させていただきました。ソロや室内楽、オーケストラなど、ジャンルや編成問わず、様々な演奏活動をしています。

**A1.**チャイコフスキーのメロディは、キュンとする素敵な旋律とチャイコフスキーらしい愛情深い曲想がとても好きです。クライスターの中国の太鼓は、タイトルの通り東洋的な情景が浮かんできて、弾いているとウキウキしてきます。

**A2.**ソロと言っても、全くの無伴奏作品以外では、ピアニストを始めとする演奏家の方々と必ず一緒にさせていただくので、音楽をする上でアンサンブルの意識は欠くことができません。相手の奏でる音に耳を澄ませ、一緒に演奏していて楽しいなと思ってもらえていたら、自然と良い音楽が生まれるのだと思います。

**A3.**いつも、その日の公演のことを思い出し、振り返りながら帰路についています。

**A4.**ヴァイオリン・ヴィオラとピアノのデュオ、弦楽四重奏からピアノ五重奏まで、このように色々な組み合わせの演奏を一度のコンサートで聴ける機会はなかなかないと思います。どうぞこの機会をお見逃しなく。

### 賛助出演



#### ヴィオラ/高梨 瑞紀

1995年5月2日生／おうし座／O型  
趣味／下町散歩  
好きな食べ物／うどん

**A1.**ヴィオラならではの低い音域(C線)から始まるのが好きです。

**A2.**アンサンブルは、一緒に弾くときの その一体感が好きです。ソロの曲もピアノとのアンサンブルだと思っていますが、特にヴィオラらしい音色が出せるように心がけています。

**A3.**水分補給、、です。

**A4.**シューマンのピアノ五重奏が特に大好きなので、心をこめて演奏したいです。

#### ヴァイオリン/早瀬 綾香

1994年2月1日生／水瓶座／O型  
趣味／読書  
好きな食べ物／ミネストローネ

#### チェロ/増山 頌子

1992年9月12日生／乙女座／AB型  
趣味／登山  
好きな食べ物／肉と野菜

### 出演者へ一問一答!

**Q0.**サポートアーティスト認定後、ご自身はどのような音楽活動をしてきた?

※さくらプラザ サポートアーティストの3名のみ。

**Q1.**今公演でのソロ曲のどんなところが好き?

**Q2.**アンサンブルとソロ、演奏するときのそれぞれの気持ちを教えて!

**Q3.**本番後はまず何をしたい?

**Q4.**今公演に向けて一言!

#### ピアノ/白川 優希

1992年2月19日生／うお座(占いの結果によって無理矢理水瓶座)／B型  
趣味／ヨガ。インストラクターも兼業しようと資格取得中  
好きな食べ物／1位オムライス 2位ハンバーグ 3位てんぷら



名曲サロンVol.21 ホール特別公演 さくらプラザ サポートアーティストによる弦楽アンサンブル  
2019年11月14日(木)14:00開演

\*詳細は裏表紙をご覧ください。



# ピアノグランプリ 2020

揺さぶれ!魂のピアノ!～人生の深淵から溢れた音楽の力～

今回で5回目を迎えるピアノグランプリは、音楽の力を伝える新たな才能と出逢う30歳以上限定のピアノオーディションです。  
横浜から世界へ、ご自身の演奏で挑戦をしてみませんか?

### ■審査員



### ■賞与

【グランプリ】1名 賞金 40万円／【優秀賞】1名 賞金 10万円

2020年3月1日(日)時点での満30歳以上の方。

ピアノ(ソロ・連弾どちらでも可) ※電子楽器不可

スタインウェイ D-274

【予選】自由曲1曲(10分以内)／【本選】予選同曲

楽曲の深い理解と新たな解釈など既成の概念にとらわれない卓越した演奏技術と豊かな表現力を有し、聴衆の心を打つ感動的な演奏であること。

※演奏時間：音の出だしから終わりまでの時間。演奏時間を越えた場合はベル等でカットすることがあります。

※アコースティック演奏のみが対象です。

### ■審査構成

予選(演奏録音物及び書類審査)、本選で構成される。

### ■応募期間

2019年9月15日(日)～2019年11月30日(土)必着

### ■本選／表彰式

2020年3月1日(日) ※定員100名まで限定一般公開有。当日12:00より入場整理券配布。

### ■本選会場

戸塚区民文化センター さくらプラザ・ホール

### ■参加料

【予選】無料／【本選】5,000円

○予選 本選出場者を決定するため、提出されたCDの演奏録音物及び書類審査を行います。

○本選 自由に選択した1曲(10分以内)の演奏を審査します。

### ■資料請求・お問合せ・応募先

横浜市戸塚区民文化センターさくらプラザ「ピアノグランプリ2020」係

TEL: 045-866-2501 ※詳細はHPまたはチラシをご覧ください。

### ■主催

ピアノグランプリ2020 実行委員会

### ピアノグランプリ 2019 受賞者 5組による記念演奏会を開催!

#### ピアノグランプリ 2019 受賞記念演奏会

出演者 優秀賞／澤井 夏海、藤田 祥子、稻島 早織・大石 真裕(連弾)  
※グランプリ該当者なし



司会 遠藤 正彦(エフエム戸塚パーソナリティ)

日時 2019年11月23日(土・祝)14時開演／チケット：全席指定 1,000円

曲目 セザル・カマルゴ・マリアーノ／CURUMIM—クレミン

C.ドビュッシー／映像 第1集より「水の反映」「運動」

A.ローゼンブラット／2つのロシアの主題による小協奏曲 ほか



# 音楽の隠し味 Op.2

このコーナーでは、作曲家や有名曲の意外な一面を知ることでクラシック音楽をより楽しめる「隠し味」をご紹介します。

第2回はシューマンです。

幻想的な作風で知られ、多くの人々を魅了しているシューマン。彼は7歳からピアノを始め、18歳で著名なピアノ講師ヴィークに師事するなど、元々は作曲家ではなくピアニストを目指していました。さらに、大学では法学部に進み勉学に励みます。しかし、とうとう音楽への情熱を断ち切れず、大学を辞めてピアノに専念することになるのです。

そんなシューマンの「痛めた指」が今回の隠し味です。

では、なぜシューマンは指を痛めたのか？その原因については様々な議論が交わされています。長らく、手に装着する練習用器具のせいだと言われていましたが、次の2点から堅い無音ピアノでの練習が有力視されています。

①妻クララが「夫は練習用器具を使っておらず、堅い無音ピアノで練習したため右手の人差し指を傷めた」と述べたこと。

②ドイツ人学者が発見した、シューマンと軍司令官の間に交わされた書物に「手の疾患によりライフルの引き金を引くことが出来ないために兵役が免除されている」と記されていたこと。

つまり、①妻クララの証言と②ライフルを引くことができないという文面から、シューマンが右手の人差し指を痛めていた事実が一致しているため、この説が支持されているのです。

恐らく、シューマンは夜中でもピアノが練習できるように無音ピアノを使っていたのでしょう。ただ、皮肉なことに、それほどまでの音楽への情熱が、彼のピアニスト人生を奪ってしまったのです。



白川 優希 Yuki Shirakawa

横浜市立南高等学校普通科卒業。桐朋学園大学ピアノ科卒業。井上節子、川島伸達各氏に師事。テレビ朝日系列「はじめまして、愛しています。」「『警部補・碓氷弘一シリーズ』殺しのエチュード/マインド」ピアノ監修。フジテレビ系列「世にも奇妙な物語『シンクロニシティ』」ピアノ協力。また、自身の企画で戸塚さくらプラザと泉区民文化センターにて「オペラ紙芝居」を開催。戸塚さくらプラザのイベントに多数出演。

## さくらプラザで聴けるシューマン公演♪

名曲サロン Vol.21 ホール特別公演

さくらプラザ サポートアーティストによる弦楽アンサンブル

2019年11月14日(木)14:00開演 好評発売中

♪シューマン／ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Op.44 ほか ソロ・アンサンブル曲など ※詳しくは裏表紙をご覧ください。

ピアニスト 白川 優希

彼自身、指の痛みに気づきとても落ち込んだようで、「両手が自由に使えたならどんなに良かったことだろう」と、その時彼が感じた不安や焦りを綴った手紙は何通も残されています。

治療もありとあらゆる方法を試しましたが良くはありません。そして、ついに彼は指の治療を諦め、作曲に専念するのです。

ピアノを思うように弾けなくなってしましましたが、この出来事がなければ、今も愛されているような素晴らしい作品は生まれていなかつかもしれません。シューマンの「痛めた指」はピアノに対する彼の強い想いの表れとして、作品への「隠し味」になっているのではないでしょうか。

## おすすめの一曲

### シューマン/ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Op.44

ピアノ・ヴァイオリン2人・ヴィオラ・チェロの5名で演奏します。ピアノに対して特別な想いがあったシューマンは、当時一般的でなかった、ピアノを中心に据えた五重奏を作曲しました。各楽器のバランスも良く、高い作曲技法が使われていることからシューマンの作品の中でも特に人気のある作品です。

11/14(木)さくらプラザ主催「名曲サロンVol.21」にて私自身がこの五重奏のピアノパートを務めます。ぜひ聴きにいらしてください。



シューマン

※参考文献

渡鏡子(1955)『シューマン』アテネ文庫  
アラン・ウォーカー(1986)『シューマン』東京音楽社  
岸田緑溪(1986)『シューマン～音楽と病理～』  
前田昭雄(2003)『シューマニアーナ』春秋社

作曲家ゼミソン・ダリルの  
聴き飲みメモ

vol.2



Daryl Jamieson(ゼミソン・ダリル)  
鎌倉在住カナダ人作曲家、美学研究者。  
東京藝術大学で学んだ。  
一柳慧コンテンポラリー賞を受賞。  
「工房・寂」主宰。



<http://daryljamieson.com/jp/>

**チエロ**——低音域の豊かで深い音色から、繊細で美しい高音まで。バロックから現代に至る多くの作曲家（私も含めて）が、チエロの持つ多様な表情を活かした独奏曲、また、チエロと伴奏楽器のための作品を書いています。9月22日、チェリストの唐津健さんが名曲揃いのプログラムで演奏会を開きます。バッハ、エルガー、バーバー……。様々なムードや感情が、聴き手の心の中に惹き起こされることでしょう。しかし、そんな「幅」を持つ飲み物があるでしょうか？ワインは確かにそうですが、唐津さんのプログラムを考えるなら、最近流行の地ビールがぴったりだと思います。横浜、鎌倉には今、地酒醸造所や地ビール専門のタップルーム（酒場）が広がっています。まずはバッハの大名作、無伴奏チエロ組曲第1番から。無数の映画やテレビ番組のサウンドトラックに使われていますが、ライブで集中して聴けば、名曲があたかも新作のように響いてくるでしょう。日本でよく飲まれている主要4社のピ尔斯ナーはドイツの系譜を引いていますが、ライブで聴くバッハが耳に新鮮なように、地ビールのピ尔斯ナーを飲めば、馴染みのピ尔斯ナーの味が新鮮に感じられるでしょう。私にとって懐かしいスタイルは、ダークな常温のビターというイギリス風のそれ。日本での人気はもう一つですが、冷たいビールに比べると味がよく感じられます。コクがあり、満足感のあるビール。イギリス人の作曲家エルガーが婚約者に捧げた「愛の挨拶」を聴きながら、ぜひ飲んでみて下さい。愛と同じで、イギリスのビターには苦味と複雑な風味があります。唐津さんはアメリカ人作曲家バーバーのソナタも弾かれます。彼が21歳のときに作ったこの曲は、20世紀の作品ではありますが、ブラームスの作品によく比せられる後期ロマン派的で情熱的な青春の名作。地ビールについては、19世紀にイギリスからインドまで冷蔵庫のない船で運搬するために「インディア・ペールエール(IPA)」という、ホップをたくさん使ったアルコール度の高いビールがあります。近年、IPAに関して最もイノベーティブなのはアメリカで、伝統を踏まえつつもより苦く華やかに香るホップの「アメリカ風IPA」には、バーバーのソナタのようにみずみずしいエネルギーがあります。唐津さんのチエロ・リサイタル、地ビールの飲み比べとセットでいかがでしょう？さあ乾杯！



今回取り上げられた唐津健さんの公演がお楽しみいただけます。  
横浜音祭り2019 × さくらプラザ 唐津 健 チエロ・リサイタル  
2019年9月22日(日)13:30開演  
全席指定 一般 2,000円／学生 1,000円(高校生以下)

【出演】唐津 健(Vc)、鷺宮 美幸(Pf)



新連載

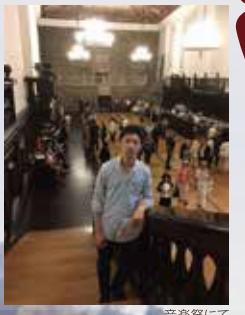
2020年2月14日に行われる「名曲サロン Vol.22 6手のためのピアノ連弾  
～ザルツブルクでともに学んだ ピアニストたち～」に出演される3名のピアニスト  
が音楽留学先での想い出を全3回に渡り紡いでいきます。第1回目はさくらプラザ  
で行われたピアノグランプリ2018で優秀賞を受賞した川田将人さんです。



ザルツブルクでの毎日は、私のそれまでの日々とは全く別世界の、とても音  
楽的な生活でした。喧騒のない緑豊かな郊外で自分の音楽と向き合うこと  
ができます。天井が高く、比較的湿度の低い空間で響くピアノの音色は日本  
で聞いていたものとは全くの別物で、教会で聴く合唱の絶妙な倍音のバラン  
スから生まれる神秘的なまでの美しい響きを知らず知らずのうちに自分自  
身の演奏にも強く求めるようになっていました。

夏の風物詩といえばザルツブルク音楽祭です。人口15万人程度のこの小さな街には、祝祭劇場の他、モーツアルトハウス、モーツアルテウム大ホール、舞台が岩盤に囲まれたオープンエアのフェルゼンライトシユーレなどそれ  
ぞれ素晴らしい特色を持ったホールがいくつもあり、一ヶ月間、文字通り「朝から晩まで」世界トップクラスの演奏  
が繰り広げられます。もちろん世界中からクラシックファンが訪れるのですが、毎年足繁く音楽祭に通うザルツブ  
ルクの聴衆たちはまさに世界屈指の耳を持つ市民と言えるかもしれません。

私もそんなザルツブルガー達に混じって、浴びるように上質な音楽を聴き、様々な形の「良い音楽」に出会うこと  
が出来ました。先述のとおり小さい街だった為、学校に入学した後は同期の友人達は勿論、日本人の留学仲間  
達との距離も近く、お互いの演奏に刺激を受けながら、価値観を認め合って成長してきました。今回のコンサート  
では、そんな信頼し合える仲間達と6手連弾ということで今からとてもワクワクしています!



**かわだ まさと  
川田将人／プロフィール**  
栃木県出身、佐野日本大学高等学校、日本大学芸術学部音楽学科ピアノコースを卒業後、オーストリア国立ザルツブルク・モー  
ツアルテウム大学ピアノ演奏家課程にて学ぶ。2015年フランツ・リスト・ヴァイマル音楽大学・修士課程ピアノソロ・歌曲伴奏科  
に入學。2017年同大学院をピアノソロ・歌曲伴奏共に最高点を獲得し修了。ピアノグランプリ2018優秀賞受賞。同年さくらプラ  
ザにて記念演奏会に出演。

## さくらプラザ ユーザーズ・ヴォイス USER'S VOICE

さくらプラザをご利用いただいている団体の方の  
声をお届けするコーナーです。

### Vol.13 戸塚ケーナ同好会



- 団体名：戸塚ケーナ同好会
- 団体活動歴：5年目
- 毎月2回 さくらプラザ練習室をフォ  
ルクローレの練習に利用



練習中にお邪魔したところ、名曲「コンドルは飛んでいく」の演奏を聴かせて  
いただきました。たくさんの楽器を使いこなしながらの演奏は圧巻でした！  
ご協力ありがとうございました！

### QUESTION

#### 1. どんな活動をしている団体ですか？

南米の民族音楽のフルクローレを民族楽器のケーナ、サンポーニャ、チャラ  
ンゴ等で演奏し楽しんでいます。基本的に同好会メンバー全員で笛を吹きま  
すが、時には3~4人のアンサンブルで演奏したりと、マンネリ化しないよう、練  
習に変化をつけています。ご興味があれば、いつでも扉を開けていますので見  
学にいらしてください。

#### 2. どなたが参加していますか？

40歳代~70歳代のフルクローレが大好きな人たちの集まりです。

#### 3. 活動のモットーを教えてください。

楽しくキビしくモットーに頑張っています。

#### 4. さくらプラザを選んだ理由、おすすめポイントを教えてください。

駅近きれいな施設である事と、譜面台が無料キャンペーン中で嬉しいです。  
何より、私たちの楽器ケーナの響きがとても良く、自分の力の1.5倍くらいに聞  
こえ、気持ち良く練習する事ができます。

## 其之 三十八 男は背中で物語る トツカミカエリオヤジ 戸塚見返親に

商店のご主人など、戸塚区内で働いている  
オヤジ世代をご紹介するコーナーです。



すずき 鈴木商会  
ユンです。  
親切、丁寧な接客を心がけています♪  
戸塚、大好きです！



#### —日本で働き始めたきっかけを教えてください。

私は韓国出身の韓国人で、妻が日本人です。元々は韓  
国で結婚し働いていましたが、日本に住むお義父さん  
が体調を崩したのをきっかけに日本にやって来て、妻  
の実家が営む「鈴木商会」で働くことになりました。今  
では店長を務めています。

#### —奥様との出会いは？

7年前にオーストラリア留学中に出会いました。  
最初はお互いにつたない英語で話をしていましたが  
(笑)、その後一緒に韓国に住んだり、日本と韓国で遠  
距離恋愛をした時期もあったりで、会話は英語、日本語、  
韓国語です。



#### —日本で働き始めていかがでしたか？

やはり、日本語が難し  
いのと、専門用語が  
多くて苦労しました。  
また、韓国では車工  
場で働いていました

が、自転車やバイクは知識がなかったので前店長のお義  
父さんに0から習いました。

その後、日本の整備士学校にも通い、国家資格を取りお  
店を任せもらっています。

#### —お店のこだわりは何でしょうか？

お客様のことを第一に考えているところです！  
私自身、外国人なのでお客様からの信頼を大切にしてい  
かなければいけないと考えており、その為には技術力  
を高めて、要望に幅広く応えられるようにしたいです。

#### —お客様はどんな方が多いですか？

自転車のトラブルでいらっしゃる方が多いですね。  
修理の内容も本当に幅広い内容なので腕が鳴ります。  
ちょっとしたことでも、気軽に立ち寄ってご相談ください。

#### —戸塚はどんなところですか？

日本では戸塚にしか住んだことがないのでなんとも言  
えないですが(笑)、戸塚は私のホームタウンです。皆  
さんが優しくて人柄も良いので何とかお店を営業できてい  
ます。日本食も大好きで、お寿司も納豆も、最近は明太子  
にはまっていますが、痛風になったら困るので食べ過ぎ  
に気をつけます。その他にも立地が良いです。東京にも  
すぐ行けるし、鎌倉とかも素敵な場所だし、これからも  
ここ戸塚でお店を頑張っていきます！

哀愁漂う後ろ姿から何処の親仁さんだろうと想像してみてください。次号では見返りポーズでお顔を公開します！

## さくらプラザ 特待生による コンサート・レビュー

未来を担う若い演奏家に、  
さくらプラザ主催の公演をレポートして  
もらうコーナーです！



2019/6/8(土)  
My Favorite Artist シリーズ5  
榎原 大(Pf)&木村 大(Gt)  
デュオ・コンサート  
～ピアノとギターが奏でる  
あなたのための音楽～



※年齢は鑑賞当時のものです。

溝口 空さん (13歳)  
本当に心の底から行つて良かつたと思えるようなコンサート  
でした。ピアノとクラシックギターのプレイが相性抜群で、ま  
さに阿吽の呼吸のようでした。ところどころソロがあつたりと  
見せ場がたくさんあり、最後までワクワクが止まらないで  
す。僕がやっているジャンルはポップスで、クラシックとは異  
なりますが、こういうフレーズもあるんだとか、こうやって曲  
全体のメリハリをつけるんだ、など新たな発見の連続で、自分  
の音楽にもインプットできるものがたくさんあるなということ  
を痛感しました。

溝口 空さん (13歳)  
本当に心の底から行つて良かつたと思えるようなコンサート  
でした。ピアノとクラシックギターのプレイが相性抜群で、ま  
さに阿吽の呼吸のようでした。ところどころソロがあつたりと  
見せ場がたくさんあり、最後までワクワクが止まらないで  
す。僕がやっているジャンルはポップスで、クラシックとは異  
なりますが、こういうフレーズもあるんだとか、こうやって曲  
全体のメリハリをつけるんだ、など新たな発見の連続で、自分  
の音楽にもインプットできるものがたくさんあるなということ  
を痛感しました。

溝口 空さん (13歳)

溝口 空さん (13歳)

溝口 空さん (13歳)

顔見世



次号の親仁は・・・？

溝口 空さん (13歳)

溝口 空さん (13歳)

溝口 空さん (13歳)



# さくらプラザコンサートスケジュール

若林 頤 セルフプロデュース ショパン:全ピアノ作品シリーズ  
**ショパンを巡る旅 2018-2020《全15回》**  
 『第2期』9/20、11/29、2020.1/31  
 以上すべて(金)各回19:30 若林 頤(ピアノ)  
 全席指定  
 各回一般 2,500円／学生 1,500円



好評  
発売中

～台詞付きハイライト上演ピアノ版～

## 日本語で味わうオペラ『Carmen』

郷家 晓子(カルメン)、村上 敏明(ドン・ホセ)  
 長島 由佳(ミカエラ)、大山 大輔(エスカミーリョ)  
 巨瀬 励起(ピアニスト)

10/27(日) 14:00  
 全席指定 一般 3,500円  
 横浜市民 3,000円／学生 1,500円  
 EX(2F見切れ席) 1,000円



好評  
発売中

## ピアノグランプリ受賞記念演奏会 2019

《優秀賞受賞》  
 鈴木 夏海、藤田 桑子  
 稲島 早織、大石 真裕(連弾)  
 《審査員特別賞受賞》  
 飯島 まゆみ、榎 京子

11/23(土・祝) 14:00  
 全席指定 1,000円



好評  
発売中

鈴木理恵子 室内楽シリーズ Season2 Vol.11

## 至高のデュオ ブラームス ヴァイオリン・ソナタ全曲集

鈴木 理恵子(ヴァイオリン)、若林 頤(ピアノ)

12/21(土) 14:00  
 全席指定 一般 3,000円  
 ペア 5,000円／学生 1,500円



まもなく  
発売

Ticket さくらプラザ先行電話予約  
 9/12(木)14:00～ \*窓口販売は翌日9:00から

## 新春さくらプラザ寄席 ~其の漆~

橋家文蔵、入船亭扇辰  
 柳家小せん、春風亭ひづかり☆  
 鏡味千代(太神楽曲芸師)

2020.1/5 (日) 13:30  
 全席指定  
 一般 3,000円  
 横浜市民 2,500円



まもなく  
発売

Ticket さくらプラザ先行電話予約  
 10/25(金)14:00～ \*窓口販売は翌日9:00から

## らららん♪ドレミシリーズ

第1回 10:45／第2回 12:00 会場:リハーサル室

Bambini(パンピーニ)

全席自由 各回 500円(0歳より有料)

Vol.6 0歳から大人まで楽しめるコンサート  
 9/25(水) ～キラキラ☆星空コンサート～



好評  
発売中

\*2019年度開催日程については  
 チラシもしくはHPをご覗ください。



掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演  
 チケット\*をプレゼント！

\*ご要望に沿えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

●氏名 ●掲載用ペンネーム ●ご住所 ●お電話番号を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。

\*ご記入いただいた個人情報は、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。

\*誌面の都合上、原稿を一部修正させていただくことがあります。

チケットはお電話(045-866-2501)でご予約いただけます。(一部除外あり)  
 詳細はチラシをご覗ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
 ※学生券をお買い求めの際は学生証を必ずご提示ください。

横浜音祭り2019×さくらプラザ

## 唐津 健 チェロ・リサイタル

唐津 健(チェロ)、鷲宮 美幸(ピアノ)

9/22(日) 13:30

全席指定

一般 2,000円

学生(高校生以下) 1,000円



好評  
発売中

秋のさくらプラザ寄席 第4回

## 五人の真打による庚寅長月の会 戸塚公演

柳家小せん、蜃気楼龍玉

三遊亭鬼丸、林家きよ麿、入船亭扇里

11/2(土) 13:30

全席指定

一般 2,500円／横浜市民 2,000円



好評  
発売中

～世界“最強”的フルーティスト!!～

## 上野 星矢 フルートリサイタル

上野 星矢(フルート)、正住 真智子(ピアノ)

12/14(土) 14:00

全席指定

一般 2,500円／横浜市民 2,000円

学生 1,000円



好評  
発売中

どこかできっと耳にしたことのある馴染み深い名曲を、  
 演奏者の息づかいで聴こえるような距離で。

## 名曲サロン シリーズ

Classic salon  
 名曲サロン  
 シリーズ

Vol.21 ホール特別公演

11/14(木) さくらプラザ サポートアーティストによる  
 弦楽アンサンブル

14:00 約90分間／全席指定 1,000円

さくらプラザ サポートアーティスト:

大澤 理菜子(ヴァイオリン)

早瀬 綾香(ヴァイオリン)

増山 順子(チェロ)

賛助出演:

高梨 瑞紀(ヴィオラ)、白川 優希(ピアノ)



Vol.22 6手のためのピアノ連弾

2020. ～ザルツブルクで  
 2/14(金) ともに学んだピアニストたち～



第1回 11:30／第2回 14:30

各回約45分間／全席自由 各回 800円 会場:リハーサル室

秋山 有子(ピアノ)、川田 将人(ピアノ)、菊地 美涼(ピアノ)

参加  
 無料  
 こどものための  
 芸術の学校  
 ダンスシアターワークショップ



12/26(木)  
 ～12/28(土)

\*詳細はチラシもしくは  
 HPをご覗ください。

戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL : 045-866-2501 FAX : 045-866-2502

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎 4F

<https://www.totsuka.hall-info.jp>

[event@totsuka.hall-info.jp](mailto:event@totsuka.hall-info.jp)

編集後記 まだまだ残暑が厳しい9月。涼しいさくらプラザで「芸術の秋」を先取りしませんか? クラシック・オペラから落語、こども向けまでご用意しております。(桑田)

SAKU  
RA  
さくら  
Vol.37  
9・10月号